

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を实践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1473300398
法人名	株式会社コスモス
事業所名	コスモス長津田
訪問調査日	平成23年1月24日
評価確定日	平成23年2月25日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[次ステップに向けて期待したい内容]
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

平成 22 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473300398	事業の開始年月日	平成14年7月1日	
		指定年月日	平成20年7月1日 更新	
法人名	株式会社コスモス			
事業所名	コスモス長津田			
所在地	(226-0018) 横浜市緑区長津田みなみ台1-6-7			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	9名	
		ユニット数	1 ユニット	
自己評価作成日	平成22年12月1日	評価結果 市町村受理日	平成23年5月18日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成23年1月24日	評価機関 評価決定日	平成23年2月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>「事業所の特徴」経営は株式会社コスモスで、二つのグループホームと、高齢者専用賃貸住宅コスモス中山を、運営している。地域とのつながりを積極的に図りながら、ご利用者の立場に立った介護を展開している。地理的には、JR長津田駅から徒歩約10分、国道246号線を超えた道路沿いにある。近隣には、大型の薬局・スーパーマーケット・ファミリーレストランなどが連なり、便利な場所である。建物は鉄筋2階建てで、1・2階に居室があり、手すりが適宜設置されている。またエレベーターがあり、2階の車椅子のご利用者の方の移動にも配慮がされている。今年度の事業所の計画として、スプリンクラーの申請をし、設置できる予定である。</p> <p>「医療サービス」協力医療機関から、毎週1回訪問診療が実施されている。また2名の看護師が配置され、健康状態の管理・把握を行っている。深夜・夜間も含め、看護師と24時間連絡体制が確保されており、ご家族とも話し合いながら、ターミナルも視野に入れたケアに取り組んでいる。毎週水曜日の口腔ケアと、月1回の訪問歯科も実施されている。</p> <p>「家族との関係」月1回、家族向けに「コスモス通信」を発行しており、入居者の暮らしぶりや行事などを、写真と共に紹介して発信している。家族会は年に1回、クリスマス会を兼ねてご家族に集まって頂いているが、日頃より家族の方の来訪は多くあり、入居者のご様子を話したり、ご意見を伺ってケアの向上に役立っている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	コスモス長津田
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「利用者の立場に立ったサービス」についてホーム会議でも話し合わせ、理念の共有を図り、地域の中での暮らしを大切にしている	「常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努める」という理念を掲げ、管理者・スタッフで話し合いながら、共有に努め実践に繋げている。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日々の散歩や買い物で地域の方々とのふれあい、会話を通して交流を図るとともに地域清掃への積極的参加を行っている	日々の散歩や買い物で、地域の方々とのふれあいを深めている。自治会に加入し、月2回の老人会の清掃に利用者の方と共に参加している。地元小学校の「浜っこクラブ」のメンバーが活動として慰問に来てくれたり、毎年、小・中学生の職場体験の受け入れをする等、地域と積極的に交流を行っている。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	戸外活動を通して地域の方々との会話を増やし、認知症の方への理解を深められるよう努めている	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度運営推進会議を開催し、地域・利用者・家族の代表者に対し現況報告を行い、意見や提案をサービス向上に活かすよう努めている	運営推進会議は2ヶ月に一度、老人会の会長・民生委員・地域包括センターの職員・家族の方の出席のもとで開催している。議題は、ホームの現況報告やゴミの分別など、多岐にわたっており、意見を頂きながら、事業所のサービスの向上に活かすよう、努めている。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村の担当者に対して必要ときに現状報告や相談をして協力関係を築けるように努めている	横浜市グループホーム連絡会に加入しており、情報交換や相談をして良い関係作りをしている。管理者は、キャラバンメイトの資格を持っており、依頼されて介護教室の講師もしている。1月1日に生活保護の方の受け入れの申請をしたので、これから更に市町村とのつながりが深まると思われる。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束をしない」ということについてはスタッフ全員で共有し「禁止の対象となる具体的な行為」を理解しケアにあたっている	「身体拘束をしない」ということを契約書にも記載されており、スタッフ全員で共有して努めている。また、禁止の対象となる具体的な行為についても理解を図りケアの実践に取り組んでいる。玄関の施錠は、昼間はしておらず、拘束感を感じないように努めている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	安心した暮らしを大切にしていくために利用者一人ひとりへの誠意ある声かけを行っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する資料、新聞記事など常に興味を持って接するよう努めている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書など書面をもとに説明し、不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時には、できるだけ利用者ともども話し合う機会を持ち、ケアに役立つヒントを得たりしてケアの向上に努めている	家族の来訪時に、できるだけ利用者、ご家族と話し合う機会を設け、ケアの向上に役立っている。家族会は、1年に1回クリスマスのイベントに合わせて行っているが、日頃より家族の来訪は多く、その都度、利用者の様子などを話す機会がある。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の施設会議で職員の意見や提案を聞き、運営に反映させている	管理者は、月に1回の施設会議にて職員の意見や提案を聞き、運営に反映させている。また、社長・施設長と職員との面談を随時行い、日頃思っていることや意見等を話す機会を設け、運営に反映させている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人ひとりが、やりがいや向上心を持って働けるように努めている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修を受けたり、OJTを行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡会などを通じて他の施設と交流を図るよう努めている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新しい生活への不安感をなくし、生活を楽しくしていただけるように笑顔で接し、声かけを密にしながら信頼関係の構築に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が望んでいる事柄が常にスタッフに届けられるように積極的に話しかけ、安心感を持っていただけるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	これまでの暮らしの理解に努め、まずは安心して過ごすことができるように本人、家族との話し合いを深めてきている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の持てる力を発揮していただけるように常に「一緒に行きましょう」「一緒に楽しみましょう」と心がけ、スタッフとの一体感をつくり出してきている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者との生活の中で得た家族への思いを家族に伝え、家族との絆を強めながら安心感を持って暮らせるように働きかけている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の友人が来られた時は、歓迎できる雰囲気作りに努め「また訪れたい」と思われる場作りを行っている	利用者への年賀状は多く来ている。年に3~4回、ご友人が訪ねてくる利用者がおられ、歓迎できる雰囲気作りを心掛け支援している。部屋には、電話を引くことが出来、家族や友人と連絡する方もいる。自分の家まで散歩に行く方や、美容院へ行く方の支援もしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	おやつや食後のひと時など、できるだけ共に楽しむ場作りを行い、会話やゲームを通してお互いを知る機会を増やしてきている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後であってもご家族から相談事などがあれば誠意ある対応をしている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の生活の中での行動、日ごろの会話の中で一人ひとりの思いを汲み取りながらケアプランの作成にあたっている。まずは「その人のそばに寄り添う」ことを大切にしている	毎日の生活の行動・会話の中で、一人ひとりの思いを汲み取りながらケアをしている。帰宅願望のある方には、昔住んでいた場所の話や聴いたり、馴染みの食べ物から、昔を思い出して頂くなど、その人に寄り添うことを大切にしている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	「センター方式」の活用により、十分なアセスメントができるように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	共に過ごすことによって多くのことを知り、スタッフとの情報を共有しながら暮らしに活かせるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎週木曜日に行われるケアカンファレンスでの話し合いをもとに、常に利用者本位の暮らしのあり方を探り、ケアプランに活かせるよう努力している	毎週木曜日にケアカンファレンスを行い、本人本位のあり方の課題とケアについて話し合いを反映し、現状に合ったケアプランの作成に努めている。ケアプランの見直しは、6ヶ月サイクルで検討し、状態に変化が見られる場合は、随時見直しを行っている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿った日々の記録、その他日々の暮らしの中での気づき等をケース記録に記載して職員間での情報を共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	取り組んでいる（訪問歯科、訪問マッサージなど）		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握に努め、利用者が活用できるように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週かかりつけ医の訪問診療と2名の看護師による健康管理を行っている	協力医療機関である新緑クリニックにご利用者全員が訪問診療を受診している。また、ホームには、2名の看護師が配置され、ご利用者の健康状態の把握・管理に努め、24時間体制が確保出来ており、医療の充実と安心がある。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は、日ごろの暮らしの中での気づきを大切にして、利用者の体調の変化を速やかに看護師、かかりつけ医へ連絡している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族との十分な話し合いを重ねながらより良い途をさぐり、かかりつけ医の協力のもと支援に取り組んできている	重度化した場合や終末期のあり方について、医療との24時間体制が取れているので、ご家族、医師、との3者で話し合いを重ね、協力を仰ぎながら支援に取り組んでいる。職員は、勉強会で研鑽を図り、マニュアルを整備し、取り組む姿勢に努めている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルの整備、日ごろの心構えなど常に学ぶ姿勢を持ってケアにあたっている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	春と秋に地域の消防署指導のもと近隣住民と協力して防災訓練を実施している	年に2回、消防署の指導の下、近隣住民と協力して防災訓練を実施している。今回は、夜間を想定して訓練を行った。スプリンクラーの設置を申請中で、今年中には実施予定である。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年長者としての尊厳を保ち、その人らしく生活していくことができるように、言葉かけは特に大切にしている	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応では、特に話し方や、呼掛けに配慮している。呼び名は、親しくなり過ぎない様、苗字でさん付けで呼び、同姓の方には下のお名前呼びかけを行なっている。居室に入室する際は、必ずノックをするようにしている。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いにそった支援ができるように、希望が表しやすい言葉かけを行っている	/		/
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にしながら本人の持つ力を発揮できるような働きかけへの工夫を行っている			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	おしゃれへの関心を強めてもらえるようにヘアスタイルや服装などへのほめ言葉を惜しまないように心がけている			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と共に食事をする中で、一つひとつの料理について話したり、好きな食べ物を伺ったりしている	食材はケイズフードに一括依頼している。食事のお手伝いでは、もやしの根取り・りんごの皮むき・キャベツの千切り等、ご利用者の出来ることを職員と一緒にしている。季節の行事や誕生会の際は、施設側で用意したり、通常の食事にプラスする等、食事を楽しむ支援に努めている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	共に食事をすることによって、水分・食事量の把握をし、好き嫌いに応じた食事への配慮も行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後に口腔ケアを実施している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のパターンを把握しながら声かけ、トイレ誘導を行っている	一人ひとりの排泄パターンをチェック表を基に把握し、時間を見計らいながら声かけを行い、トイレ誘導を行っている。パンツ式のオムツ・パッドを使用しているが、自力で排泄できるよう、支援に努めている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分、食事、運動など配慮している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	体調や希望にあわせた入浴を行っている	入浴について、個々の体調や意向を確認しながら、1週間に2回、間隔の空いている方から入浴して頂いている。お風呂の苦手な方には、雰囲気作りをして、無理強いすることなく、お声掛けをして支援している。また、ゆず湯・菖蒲湯等を利用し、季節による工夫をし、お風呂を楽しんで頂いている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	散歩、屋内歩行、レクリエーション等で日中活動を増やし、夜の睡眠の確保に努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器拭き、食材準備、洗濯物たたみなどをスタッフと共に行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所への散歩、買い物、喫茶など天候を考慮してできるだけ実施できるように支援している	天気の良い日は出来るだけ、近隣の散歩や買い物、喫茶店等へ外出の支援に努めている。一人で買い物に行く方や、送迎付きで美容院へ行く方など、一人ひとりに合わせた支援をしている。1年に1回は、お花見（ピクニック）にも行っており楽しみとなっている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	地域の一員として、また社会生活を楽めるよう美容院やスーパーへの外出を支援している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	行っている			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季の移り変わりを話しながら利用者と共に飾りつけを行ったりして行事などを楽しんでいる	共用の空間は、不快や混乱を招くような刺激はなく、リビングには、季節ごとにご利用者と共に飾り付けを行い、季節感を楽しむ工夫に努めている。また、ひな祭りやクリスマスの飾り付けをした際には、一緒に写真を撮る等、ご利用者が居心地良く過ごせるよう家庭的な雰囲気大切にしている。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファでゆっくりとくつろいだり、テーブルでパズルや塗り絵をしたり新聞を読んだりそれぞれのペースで過ごされている			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具や趣味の作品などが飾られ、本人が安心して過ごせる場となっている	居室は、これまで使い慣れた馴染みの家具や家族の写真等を飾り、本人が安心して快適に過ごせるよう配慮されている。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有トイレや各居室使用者の表示			

目標達成計画

事業所

コスモス長津田

作成日

平成23年1月24日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
	2	地域との交流（ネットワーク作り）	・小物作り ・歌などでの交流	地域の方たちへの働きかけ（自治会長さんなど）	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。